

2/12

音楽を通じて防災啓発 消防音楽隊による定期演奏会

消防音楽隊による定期演奏会が新型コロナウイルスの影響で3年ぶりに開催され、会場の下石公民館に家族連れら約200人が集まりました。第6回を迎えた今回の演奏会では、西陵中学校吹奏楽部の賛助出演のもと、元気や勇気が湧いてくる楽曲メドレーや聞きなじみのある曲のほか、息の合った合同演奏などが披露され、会場は大いに盛り上がりました。



2/13

探求のタネを大きく育て 科学作品の全国表彰

昨年の夏休みに科学作品に取り組んだ努力が実を結び、ペットボトルロケットの到達高度と中身の関係を研究した土岐津中学校3年の岩本汰朗さんが第66回日本学生科学賞で文部科学大臣賞を受賞しました。また、ホットケーキをふわふわに焼く調理法を研究した土岐津小学校1年の宮地亮輔さんが第59回全国児童才能開発コンテスト科学部門で全国連合小学校長会会長賞を受賞しました。



2/13

先生も夢中になって ACP指導者合同研修会

市内の全園と全小学校では、子どもたちの体力向上を図るため、ACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）を取り入れています。指導する先生たちにも体を動かすことの楽しさや喜びを再認識してもらうための研修会がセラトピア土岐で開かれました。先生たちは、子どもに負けにくいぐらい楽しく運動しながら、興味を持続させるポイントなどを学びました。



2/23

地域の医療を支える拠点として 新病院造成工事 安全祈願祭

肥田町浅野地内の新病院の建設予定地で造成工事の安全祈願祭が開かれ、関係者ら約50人が出席しました。加藤市長（東濃中部病院事務組合管理者）は「地域医療を守る拠点として、30年・40年先も市民に信頼されるような病院にしたい」とあいさつしました。新病院は、地上7階建て、総病床数400床で、2026年2月に開院する予定です。

